



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 JUKI株式会社

コード番号 6440 URL <http://www.juki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清原 晃

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 鈴木 正彦

TEL 042-357-2211

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	55,220	—	△1,822	—	△2,394	—	△7,083	—
23年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 △7,166百万円 (—%) 23年12月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	△54.82	—
23年12月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、平成23年12月期に決算日を3月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、比較対象となる平成23年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成23年12月期第3四半期の連結経営成績及び平成24年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	102,970	4,562	4.2
23年12月期	114,263	12,361	10.6

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 4,304百万円 23年12月期 12,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

・詳細は、本日(平成24年11月14日)公表しました「業績予想の修正、繰延税金資産の取崩しおよび配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	—	△1,800	—	△2,400	—	△7,200	—	△55.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

・詳細は、本日(平成24年11月14日)公表しました「業績予想の修正、繰延税金資産の取崩しおよび配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期3Q	129,370,899 株	23年12月期	129,370,899 株
24年12月期3Q	153,914 株	23年12月期	150,273 株
24年12月期3Q	129,218,798 株	23年12月期3Q	— 株

(注) 平成23年12月期は決算日の変更により、平成23年4月1日から平成23年12月31日までの9ヶ月間となっております。このため、期中平均株式数(四半期累計)の平成23年12月期3Qについては記載しておりません。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済環境、主要市場における政治情勢、為替相場の変動(主に円/米ドル相場)が含まれます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間は、欧州の財政危機の長期化、中国などの新興国市場の経済成長の鈍化などにより世界経済は減速し、縫製工場や電子工場における設備投資需要は低調となりました。また、著しい円高の長期化に加え、尖閣問題による中国での販売の影響もあり、売上高は552億2千万円、経常損失は23億9千4百万円となりました。また、当期の業績見込みを踏まえて繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、47億6千9百万円を取崩したことで四半期純損失は70億8千3百万円となりました。

(注)当社は前連結会計年度より決算日を3月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、比較対象となる平成23年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期との増減比較については記載しておりません。

なお、以下のセグメント別の売上高については、参考として、前年同期間(平成23年3月期第4四半期と平成23年12月期第2四半期累計期間の合計値(平成23年1月1日から平成23年9月30日まで))との増減比較を記載しております。

(主なセグメント別の概況)

① 縫製機器事業

中国においては縫製品の欧米向け輸出が減少し、加えて縫製工場の東南アジア地域への産地移動の影響などにより設備投資需要が減少し、また、中国以外の地域においても世界経済の減速などの影響を受け設備投資需要が低迷いたしました。一方、自動車シートやスポーツシューズなどアパレル以外の縫製事業向けの売上は徐々に増加しているものの全体をカバーするには至らず、縫製機器事業全体の売上高は370億9千6百万円(対前年同期間比17.1%減)となりました。

② 産業装置事業

最大の市場である中国においては特に第3四半期に入り設備投資抑制などの影響が顕著に現れ、売上は前年比で大きく減少いたしました。欧米においても景気減速などの影響を受け売上が大きく減少したことで、産業装置事業全体の売上高は129億6千8百万円(対前年同期間比20.9%減)となりました。

(ご参考)

売上高	前年同期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減 (百万円)	伸び率 (%)
縫製機器事業	44,773	37,096	△7,677	△17.1
産業装置事業	16,390	12,968	△3,422	△20.9

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ112億9千2百万円減少して1,029億7千万円となりました。売上債権が減少したことに加え、繰延税金資産を取崩したことなどによるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ34億9千2百万円減少して984億8百万円となりました。仕入債務が減少したことなどによるものです。純資産は、前連結会計年度末に比べ77億9千9百万円減少して45億6千2百万円となりました。経常損失となったことに加え、繰延税金資産を取崩したことなどで利益剰余金が76億9千7百万円減少したことや為替換算調整勘定が1億9千8百万円減少したことなどによるものです。

なお、繰延税金資産を取崩したことで、将来の課税所得見積りの変動などによって業績が左右されるリスクが軽減されるものと考えております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

欧州の財政危機の長期化、中国などの新興国市場の経済成長の鈍化などにより世界経済は減速しており、縫製工場や電子工場における設備投資需要も低調となっております。また、著しい円高が長期化し、加えて、尖閣問題では中国における日本企業の事業リスクが顕在化するなど、当社を取り巻く環境は厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、通期の業績予想につきましては、売上高750億円と前回発表値より下回る見込みであります。

また、営業利益および経常利益につきましても、売上高の下方修正に伴い前回予想を下回り、加えて繰延税金資産を取崩したことにより、当期純利益は72億円の損失となる見込みです。詳細は本日開示いたしました「業績予想の修正、繰延税金資産の取崩しおよび配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、第4四半期の為替レートは1米ドル80円を想定しております。

当社はこのような厳しい事業環境においても持続的な成長を可能とするため、現行の「飛躍への戦略的プラン—中期経営計画(2011~13年度)」の見直しを行い、各事業について早期に構造改革を進め、収益力・財務体質強化を図ってまいります。詳細につきましては、後日、その概要がまとまり次第公表してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法等を採用しております。

なお、当第3四半期連結会計期間において、期首の繰延税金資産の回収可能性を見直したことによる税金費用の計上(繰延税金資産の取崩)47億6千9百万円を実施しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

外貨建予定取引に係る為替予約取引の処理

昨今の為替相場の変動が著しいことなどから、社内規定等を変更し、外貨建予定取引に対応する為替予約取引を実施したため、その一部について第1四半期連結会計期間よりヘッジ会計を適用し繰延ヘッジ処理を行っております。

これにより、為替予約取引の時価評価差額のうち9百万円を繰延ヘッジ損益(貸方)として計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,241	7,344
受取手形及び売掛金	20,978	16,957
たな卸資産	42,151	41,190
その他	5,293	5,260
貸倒引当金	△1,161	△1,221
流動資産合計	73,504	69,531
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,223	16,112
土地	7,464	7,411
その他(純額)	4,874	4,510
有形固定資産合計	29,562	28,034
無形固定資産		
投資その他の資産	1,633	1,451
その他	10,351	4,711
貸倒引当金	△788	△758
投資その他の資産合計	9,563	3,953
固定資産合計	40,759	33,439
資産合計	114,263	102,970
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,427	9,026
短期借入金	47,425	47,502
1年内償還予定の社債	40	40
未払法人税等	220	222
賞与引当金	332	436
その他	5,149	5,386
流動負債合計	67,596	62,614
固定負債		
社債	50	20
長期借入金	25,396	27,692
退職給付引当金	6,535	6,598
役員退職慰労引当金	176	153
その他	2,147	1,329
固定負債合計	34,305	35,794
負債合計	101,901	98,408

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,950	15,950
利益剰余金	3,646	△4,051
自己株式	△58	△59
株主資本合計	19,538	11,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20	108
繰延ヘッジ損益	△78	△66
為替換算調整勘定	△7,378	△7,577
その他の包括利益累計額合計	△7,436	△7,535
少数株主持分	260	257
純資産合計	12,361	4,562
負債純資産合計	114,263	102,970

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	55,220
売上原価	41,952
売上総利益	13,267
販売費及び一般管理費	15,090
営業損失(△)	△1,822
営業外収益	
受取利息	73
受取配当金	130
為替差益	129
その他	427
営業外収益合計	760
営業外費用	
支払利息	1,202
その他	129
営業外費用合計	1,332
経常損失(△)	△2,394
特別利益	
固定資産売却益	434
特別利益合計	434
特別損失	
固定資産除売却損	23
投資有価証券評価損	5
ゴルフ会員権評価損	13
その他	1
特別損失合計	44
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,004
法人税等	5,079
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△7,083
少数株主損失(△)	△0
四半期純損失(△)	△7,083

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△7,083
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	88
繰延ヘッジ損益	11
為替換算調整勘定	△182
その他の包括利益合計	△82
四半期包括利益	△7,166
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,166
少数株主に係る四半期包括利益	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 事業	産業装置 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	37,096	12,968	50,064	5,155	55,220	—	55,220
セグメント間の内部 売上高又は振替高	50	726	776	841	1,618	△1,618	—
計	37,146	13,695	50,841	5,997	56,839	△1,618	55,220
セグメント利益又は損失 (△)	△795	△780	△1,576	207	△1,368	△1,025	△2,394

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロストワックス製品等の生産・販売を行っている精密鑄造事業、IT関連機器事業及び金型・プレス加工製品事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,025百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,030百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社での管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

重要性が乏しいことから記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。